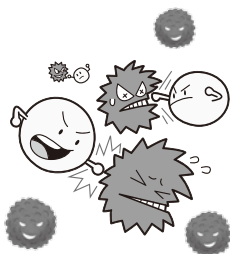




つばさだより No.277
2017年12月



つばさ薬局 多賀城店	☎022(366)8001	吉川店	☎0229(22)7010
長町店	☎022(308)5711	泉店	☎022(772)1571
船岡店	☎0224(58)1065	若林店	☎022(289)8777
中新田店	☎0229(64)1888	松陽台店	☎022(361)9444
松島店	☎022(353)2990	上杉店	☎022(212)1126
玉川店	☎022(365)2838		



寒さも本格化してまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

現在、国民の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。しかし、3分の2の方は5年以上生存しており、検診で早期に発見して治療を開始することで、長く生存できる確率も高くなります。皆様ががん検診を受けることで、がんによる死亡を今よりも減らすことができます。厚生労働省では、がん検診の受診率を50%以上とすることを目標に、がん検診を推進しています。がん検診、忘れずに受けていますでしょうか。今回は主ながん検診についてのお話です。

1. 胃がん：レントゲンもしくは胃カメラ

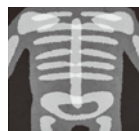
以前は自治体の胃がん検診の対象は40歳以上でレントゲン検査のみでした。最近は50歳以上が隔年での対象となり、胃カメラも選択できるようになりました。胃カメラはがんが疑われる部分があればその部分の組織を採取して診断することができるので、お勧めです。食生活の変化（減塩）



や胃がんの原因となるピロリ菌感染が減少しているため、胃がんになる方は減っています。また、胃カメラ検査の普及で早期に見つかるケースも増えています。人間ドッグ学会の報告では検診で発見された胃がんの81%が早期がんであり、そのうち46%が身体に負担の少ない内視鏡手術で切除できるとされています。

2. 肺がん：胸部レントゲン

胸部レントゲンで肺がんの可能性を調べます。レントゲンで異常があれば、胸部CT検査による精密検査を行います。肺がんの予防には禁煙が何といても重要で、検診の効果は限られています。早期発見も大切ですが、まず重要なのは予防としてタバコを吸わない、受動喫煙を避けることです。



3. 大腸がん：便潜血検査

便を少量採取し、血が混じっていないかを調べる便潜血検査を行います。この検査は大腸がんの組織が小さくても出血しやすいことを利用したものです。



検査では2日分の採便をしますが採便して5日以内であれば検査できるので、毎日便が出ない方でも大丈夫です。提出された2日分のうちどちらかが陽性（出血がある）であれば、大腸内視鏡による精密検査が必要と判定します。

4. 乳がん：マンモグラフィー

自治体の乳がん検診は40歳以上で隔年の受診となり、多くはマンモグラフィー検査といわれる乳房用のエックス線検査が行われます。しこりや石灰化の有無を調べることができ、1か所に多く集まっている場合はがんを疑います。また大学や医療機関など42施設から超音波（エコー）検査も併用することで特に2cm以下の小さいがんを見つけることができ、発見率が1.5倍になったという報告もあります。



5. 子宮がん：細胞診

子宮がんには子宮頸がんと子宮体がんの2種類があり、がん細胞のできる位置が異なります。多くの自治体検診で受けることができるのは子宮頸がん検診です。どちらも専用のブラシで子宮内部を優しくこすり、細胞を採取します。子宮頸がんは若年層で増加していますので、20代からの検査が大切です。自治体検診では20歳以上の女性が受けられます。また子宮体がんは40代後半から増加してくるので、その年代になったら子宮体がん検診も追加することをお勧めします。



6. 前立腺がん：PSA検査、直腸診、経直腸エコー

PSA検査は前立腺がんを早期発見するための最も有用な検査です。がんや炎症により前立腺組織が壊れると、PSAが血液中に漏れ出し、増加します。血液検査でPSA値を調べることによって前立腺がんの可能性を調べます。



直腸診は、医師が肛門から指を挿入して前立腺の状態を確認する検査です。前立腺の表面に凹凸があったり、左右非対称であったりした場合には前立腺がんを疑います。経直腸エコーは、超音波を発する器具を肛門から挿入して、前立腺の大きさや形を調べる検査です。

がん検診や 健康診断に際して



お住まいの市町村では、健康増進法に基づいて、がん検診を実施しています。ほとんどの市町村では、がん検診の費用の多くを公費で負担しており、一部の自己負担

でがん検診を受けることができます。なお、お勤めの職場や、加入する健康保険組合等でもがん検診を実施している場合がありますので、ご確認ください。

血液検査や胃の検査、腹部エコーでは検査前日～当日に食事の制限がありますので、事前に案内をよく確認しましょう。また、検査によっては休薬が必要な場合もあります。検診の申し込みをするときなど、事前に病院に確認してください。

がん検診を受けて「異常がない」場合は、定期的に次回の検診を受診することになりますが、「精密検査が必要」と判断された場合には、精密検査を受診することが必要です。「精密検査」を受診して、「異常なし、または良性の病変」であったときは、次回の検診へ。「がん」と判定された場合は、治療へ進むことががん検診の流れです。途中で精密検査や治療を受けない場合は、がん検診の効果はなくなってしまいます。

定期的にごがん検診を受けて早期発見に取り組んでいきましょう。



参考文献： 国立がん研究センター HP ― がん情報サービス
厚生労働省 HP ― がん検診
いつでも元気 2017年9月号 ― 健康教室

1月の栄養相談予定 (各店10:00～12:00開催です)

- ・11日(木) 古川店
- ・16日(火) 上杉店
- ・19日(木) 泉店
- ・22日(月) 船岡店
- ・23日(火) 松島店
- ・26日(金) 若林店